



第38回(平成26年度)

久留米市民意識調査 報告書

 水と緑の人間都市・久留米

はじめに

久留米市では、平成 17 年の 1 市 4 町合併以降、減り続けていた人口が平成 25 年度から増加傾向に転じています。市の豊かな自然や恵まれた医療環境などの暮らしやすさに加え、これまで市が進めてきた子育て支援策や教育環境の充実などの取り組みによるものと思われます。引き続き、結婚・出産・子育ての切れ目のない支援など、安全に安心して暮らせるまちづくりに取り組んでまいります。

また、去年は、市内で初めての環状道路で、全ての区間が 4 車線と通行しやすい都市計画道路・東合川野伏間線が全線開通し、六ツ門地区には、文化芸術の振興や広域交流の促進、街なかの賑わい創出を図るとともに、県南の中核都市・久留米の求心力を象徴するランドマーク施設として「久留米シティプラザ」の整備が順調に進んでおり、都市の基盤づくり・魅力向上にも取り組んでいるところで

す。

さて、今回で 38 回目を迎える市民意識調査では、「行政施策」「食育・地産地消」「環境」「中心市街地」「住宅」「インターネット」「安全・安心のまちづくり」についてご意見をうかがいました。これらの調査結果はそれぞれのテーマにおける取り組みをさらに進めるための基礎資料として活用してまいりたいと考えています。

この調査の実施にあたり、アンケートに回答いただいた市民の皆さまをはじめ、調査にご協力いただいた方々に心から感謝いたしますとともに、今後も市政の運営にご理解とご協力をたまわりますようお願い申し上げます。

平成 27 年 3 月

久留米市長 榎原利則

目 次

I	調査の概要	
1	調査の目的	1
2	調査の方法	1
3	調査項目	1
4	地域区分および回収状況	4
5	標本の構成	5
6	調査票回収不能理由	7
7	調査結果利用上の注意	8
II	調査結果の分析	
第1章	行政施策	9
1-1	行政施策の満足度	9
1-2	久留米市への愛着	15
1-3	久留米市の住みやすさ	17
1-4	定住意向	23
1-5	久留米市の状況	25
1-6	環境に配慮した取り組み	27
1-7	人権問題	28
1-8	生涯学習活動、文化芸術活動、運動・スポーツ活動の状況	30
1-9	市民活動への参加状況	32
1-10	健康づくりのための運動	34
	考察	35
第2章	食育・地産地消	40
2-1	「食育」の認知と関心	40
2-2	朝食の摂取状況	44
2-3	がめ煮の調理	46
2-4	地産地消に対する意識	47
2-5	久留米市地産地消推進店について	49
2-6	県内最大の農業生産都市であることの認知	52
2-7	田んぼや畑の多面的機能	53
	考察	55
第3章	環境	58
3-1	周辺環境の満足度	58
3-2	環境を守るために実践していること	60
3-3	環境に関する活動に参加しやすくするために必要なこと	62
3-4	環境を守るための施策	64
	考察	66

第4章	中心市街地	71
4-1	中心市街地への来訪	71
	考察	77
第5章	住宅	80
5-1	街なか居住	80
5-2	高齢期の住環境	82
5-3	今後必要な住宅施策	84
5-4	市営住宅	86
	考察	88
第6章	インターネット	91
6-1	インターネットの利用状況	91
6-2	パソコンやスマートフォンなどを通して入手したい情報	95
6-3	ICTを活用したサービスで期待したいこと	97
	考察	99
第7章	安全・安心のまちづくり	102
7-1	けがや事故、犯罪、災害に対する不安感	102
7-2	ふだんの生活で不安に感じる事	106
7-3	防災	108
7-4	セーフコミュニティについて	116
	考察	119
Ⅲ	自由意見Q&A集	123
Ⅳ	使用した調査票と全体集計結果	137-156

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、時代と共に変化する市民意識の動向と現在の多様な市民ニーズを科学的、統計的に把握し、今後の市の施策・事業の検討、推進、評価の基礎データとして活用することを目的としている。

2 調査の方法

(1) 調査地域	久留米市全域
(2) 調査対象者	久留米市に在住する満 20 歳以上の人
(3) サンプル数	2,000
(4) 抽出方法	住民基本台帳からの二段無作為抽出法
(5) 実査方法	調査票を郵送し、調査員が訪問回収を行う郵送法併用の留置法 (調査票は封筒に封入したものを回収)
(6) 実査期間	平成 26 年 7 月 24 日～8 月 5 日
(7) 回収数 (率)	1,711 票 (85.6%)
(8) 調査の企画と実施	企画 久留米市 協働推進部 広聴・相談課 実施 西日本新聞社 お客さまセンター 調査・マーケティンググループ
(9) 調査結果の分析者	山下永子 (久留米信愛女学院短期大学 講師) 武藤桐子 (香蘭女子短期大学 非常勤講師)

3 調査項目

今回の意識調査は、主に、①行政施策 ②食育・地産地消 ③環境 ④中心市街地 ⑤住宅 ⑥インターネット ⑦安全・安心のまちづくり という 7 つのテーマについて実施した。

①行政施策 久留米市が取り組む 33 項目の施策についての満足度、久留米市への愛着度、住みやすさ、市の状況をどう感じるかなどについて調査し、久留米市新総合計画に掲げる施策の目指す成果の達成状況を把握する基礎資料として活用する。

②食育・地産地消 食育や地産地消への意識を調査するとともに、農業の持つ多面的機能についての認知度を把握し、次期食料・農業・農村基本計画の策定や次期食育推進プランの策定の基礎資料として活用する。

③環境 周辺環境に対する市民の皆さんの満足度、環境問題に対する意識や取り組みの程度、力を入れてほしい施策などについて調査し、環境基本計画の一部見直しの基礎資料として活用する。

④中心市街地 中心市街地への来街について、来街する際の頻度、目的、移動手段を調査し、今後の中心市街地活性化に向けた基礎資料として活用する。

⑤住宅 街なか居住の意向、高齢期に求められる住環境や住宅施策を調査し、住生活基本計画の見直しや後期計画策定の基礎資料として活用する。

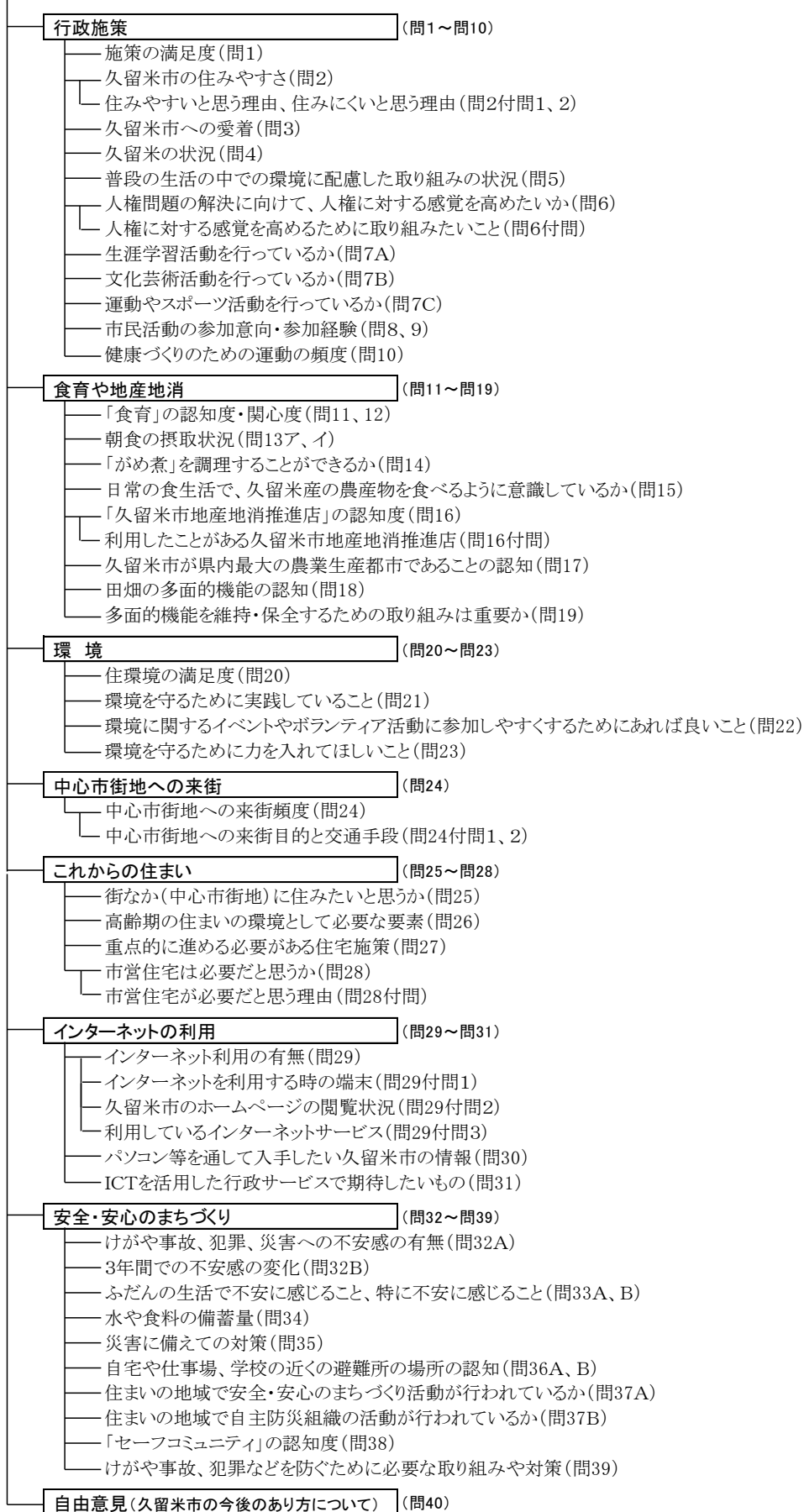
⑥インターネット インターネット利用や久留米市ホームページの閲覧状況、インターネットを通じて入手したい行政情報、ICT (情報通信技術) を活用したより利便性の高い行政サービスへの要望などを調査し、次期 ICT 情報化推進計画(仮称)策定の基礎資料として活用する。

⑦安全・安心のまちづくり けがや事故、犯罪、災害への不安、災害への備え、セーフコミュニティの認知度などを調査し、安全・安心のまちづくり推進の基礎資料として活用する。

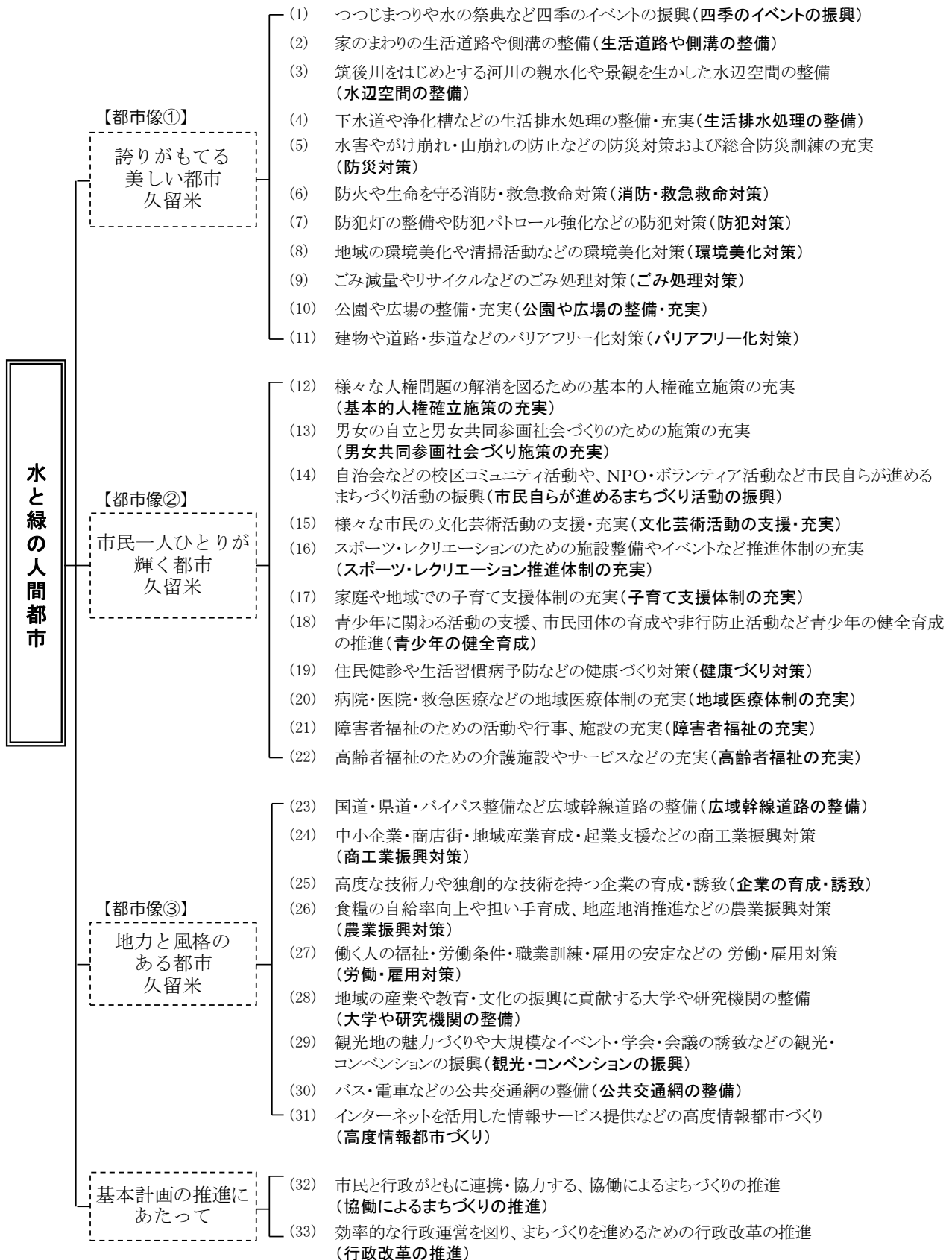


◆設問概要図

平成26年度久留米市民意識調査



平成26年度行政施策分析項目（満足度33問）



※ カッコ内は省略後の項目名



4 地域区分および回収状況

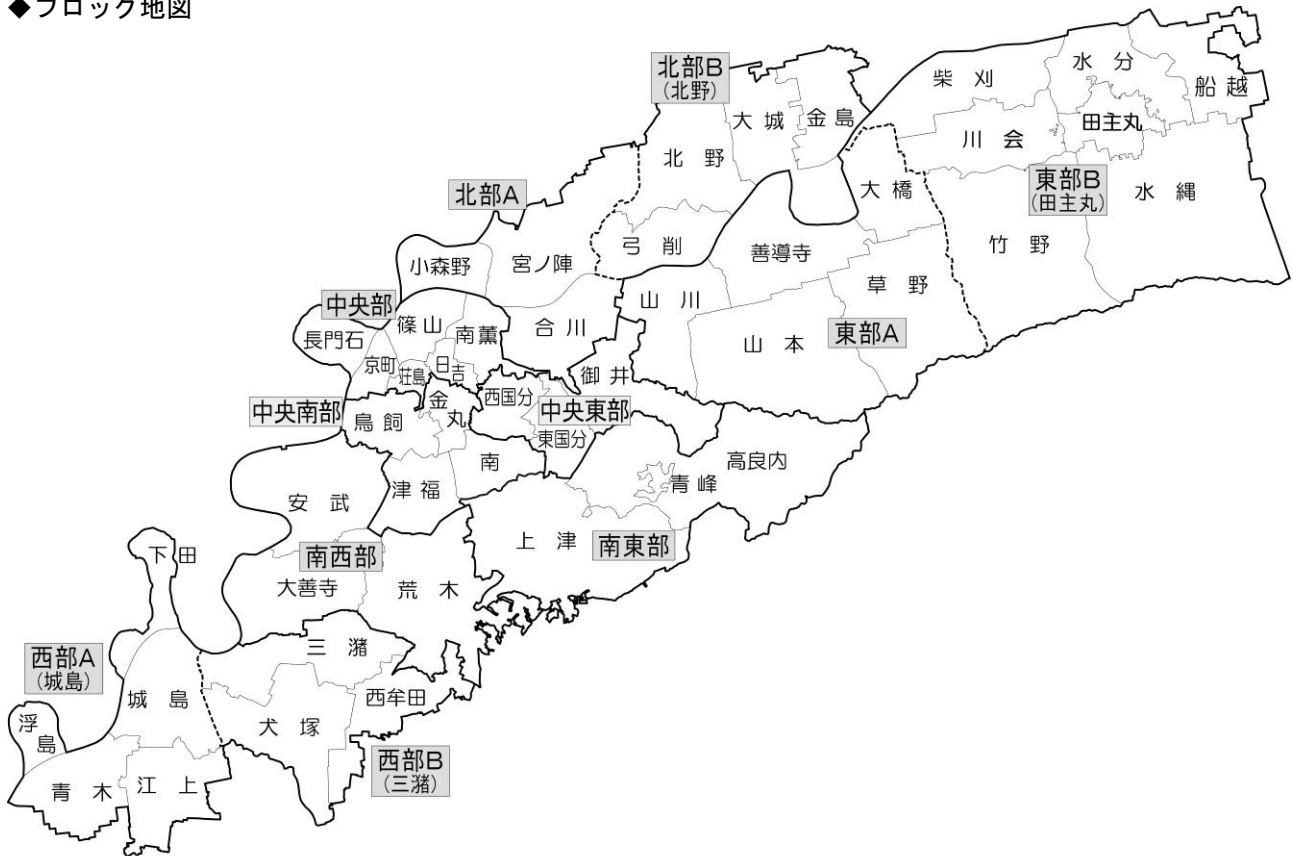
地域別の特徴をみるために、市全体を合計 11 のブロックに区分し分析を行っている。なお、各ブロックに対応する小学校区および校区別の有効回収率は以下の通りである。

ブロック	校区	配布数	有効回収数	有効回収率
東部 A	山川	40	34	85.0%
	山本	20	18	90.0%
	草野	20	17	85.0%
	善導寺	50	46	92.0%
	大橋	10	7	70.0%
東部 B	船越	10	8	80.0%
	水分	10	8	80.0%
	柴刈	10	8	80.0%
	川会	20	15	75.0%
	竹野	20	18	90.0%
	水縄	20	18	90.0%
	田主丸	40	34	85.0%
北部 A	小森野	30	25	83.3%
	合川	90	79	87.8%
	宮ノ陣	60	52	86.7%
北部 B	北野	60	51	85.0%
	弓削	20	19	95.0%
	大城	30	22	73.3%
	金島	20	15	75.0%
中央東部	西国分	110	89	80.9%
	東国分	80	70	87.5%
	御井	60	51	85.0%
南東部	上津	110	98	89.1%
	高良内	70	60	85.7%
	青峰	20	18	90.0%
中央部	荘島	30	26	86.7%
	日吉	40	33	82.5%
	篠山	50	39	78.0%
	京町	40	33	82.5%
	南薫	70	61	87.1%
	長門石	40	37	92.5%
中央南部	鳥飼	60	47	78.3%
	金丸	90	77	85.6%
	南	110	94	85.5%
	津福	80	75	93.8%
南西部	荒木	80	65	81.3%
	大善寺	50	44	88.0%
	安武	40	36	90.0%
西部 A	城島	30	25	83.3%
	下田	10	10	100.0%
	青木・浮島	20	15	75.0%
	江上	20	18	90.0%
西部 B	犬塚	40	36	90.0%
	三瀧	40	33	82.5%
	西牟田	30	27	90.0%
全市		2,000	1,711	85.6%

ブロック	配布数	有効回収数	有効回収率
東部	270	231	85.6%
北部	310	263	84.8%
中央東部	250	210	84.0%
南東部	200	176	88.0%
中央部	270	229	84.8%
中央南部	340	293	86.2%
南西部	170	145	85.3%
西部	190	164	86.3%
合計	2,000	1,711	85.6%

ブロック	配布数	有効回収数	有効回収率
東部 A	140	122	87.1%
東部 B(田主丸)	130	109	83.8%
北部 A	180	156	86.7%
北部 B(北野)	130	107	82.3%
中央東部	250	210	84.0%
南東部	200	176	88.0%
中央部	270	229	84.8%
中央南部	340	293	86.2%
南西部	170	145	85.3%
西部 A(城島)	80	68	85.0%
西部 B(三瀧)	110	96	87.3%
合計	2,000	1,711	85.6%

◆ブロック地図



5 標本の構成

◆基本属性

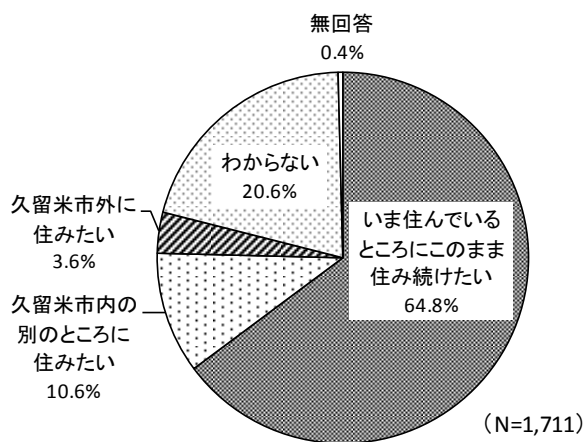
	標本数(票)	性別(%)		年齢別(%)						住まいの形態(%)								
		男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	持ち家・一戸建て	持ち家・集合住宅(分譲マンション)	借家住宅(一戸建て)	賃貸住宅(アパート、マンション)	・寮など	(公務員住宅・社宅)	勤務先給与住宅	その他	間借り・同居、
全体	1,711	45.9	54.1	11.8	16.4	18.9	17.5	23.0	12.3	66.0	4.3	5.1	22.8	1.1	0.7			
ブロック別	東部A	122	42.6	57.4	6.6	15.6	24.6	20.5	22.1	10.7	82.8	-	3.3	13.1	-	0.8		
	東部B(田主丸)	109	51.4	48.6	9.2	11.0	13.8	24.8	26.6	14.7	89.9	-	4.6	4.6	-	0.9		
	北部A	156	43.6	56.4	16.7	20.5	19.9	15.4	19.9	7.7	53.8	2.6	7.1	35.3	1.3	-		
	北部B(北野)	107	46.7	53.3	13.1	22.4	14.0	15.9	22.4	12.1	86.0	-	1.9	12.1	-	-		
	中央東部	210	43.3	56.7	11.4	16.2	22.9	21.4	19.0	9.0	51.0	9.0	10.0	27.6	1.4	1.0		
	南東部	176	46.6	53.4	9.7	15.3	18.8	16.5	21.6	18.2	76.1	-	5.1	18.8	-	-		
	中央部	229	49.8	50.2	9.2	13.1	19.7	14.8	31.0	12.2	47.6	12.7	5.7	30.6	3.5	-		
	中央南部	293	44.7	55.3	15.0	18.8	16.0	18.4	18.4	13.3	51.9	6.5	4.8	34.1	2.0	0.7		
	南西部	145	45.5	54.5	13.1	16.6	20.0	14.5	22.1	13.8	75.2	1.4	3.4	17.2	-	2.8		
	西部A(城島)	68	42.6	57.4	8.8	14.7	20.6	11.8	26.5	17.6	85.3	-	2.9	8.8	-	2.9		
西部B(三瀧)	96	49.0	51.0	13.5	13.5	17.7	16.7	31.3	7.3	88.5	-	2.1	9.4	-	-			

◆標本の構成

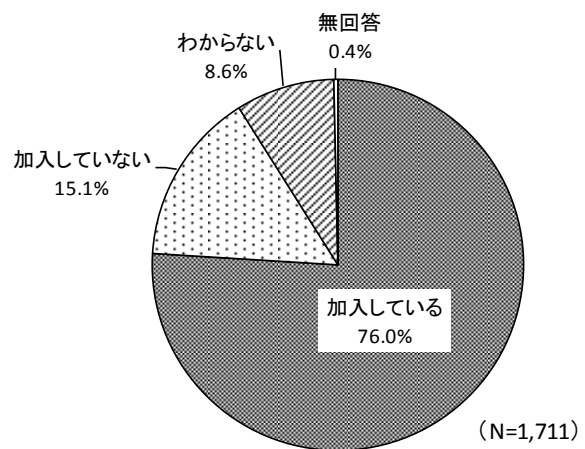
N=1,711		回収数 (票)	比率 (%)
性別	男性	786	45.9
	女性	925	54.1
年齢	20歳代	202	11.8
	30歳代	280	16.4
	40歳代	324	18.9
	50歳代	300	17.5
	60歳代	394	23.0
	70歳以上	211	12.3
	家族構成	単身	154
夫婦だけ		330	19.3
親・子(2世代)		891	52.1
親・子・孫(3世代)		277	16.2
その他		54	3.2
同居家族	無回答	5	0.3
	未就学児	236	13.8
	小学生	233	13.6
	中学生	150	8.8
	上記以外の18歳未満の子ども	182	10.6
	上記に当てはまる人はいない	1,147	67.0
	無回答	6	0.4

N=1,711		回収数 (票)	比率 (%)
職業	農林漁業	46	2.7
	自営業	163	9.5
	給与所得者(常勤)	658	38.5
	パート・アルバイト(学生は除く)	260	15.2
	学生	35	2.0
	家事に専念	205	12.0
	無職	325	19.0
	その他	12	0.7
	無回答	7	0.4
	住居形態	持ち家・一戸建て	1,129
持ち家・集合住宅 (分譲マンション)		73	4.3
借家住宅(一戸建て)		88	5.1
賃貸住宅(アパート、マンション)		390	22.8
勤務先給与住宅(公務員 住宅・社宅・寮など)		19	1.1
間借り・同居、その他		12	0.7
居住年数	5年未満	140	8.2
	5～10年未満	108	6.3
	10～20年未満	275	16.1
	20～30年未満	307	17.9
	30～40年未満	292	17.1
	40年以上	582	34.0
	無回答	7	0.4

◆久留米市への定住意向



◆自治会(町内会)の加入状況



◆久留米市への定住意向、自治会（町内会）への加入

	標本数 (票)	久留米市への定住意向(%)					自治会(町内会)への加入(%)				
		まとい 住ころ みろに 続け たこの いま	の いと ころ に 住 の み別	久 留 米 市 内 の 住 み別	み 久 留 米 市 外 に 住	わ か ら な い	無 回 答	加 入 し て い る	加 入 し て い ない	わ か ら な い	無 回 答
全 体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,711)	64.8 (1,109)	10.6 (181)	3.6 (61)	20.6 (353)	0.4 (7)	76.0 (1,300)	15.1 (258)	8.6 (147)	0.4 (6)	
性別 × 年齢別	男性:20歳代	85	37.6	15.3	5.9	41.2	-	38.8	30.6	30.6	-
	男性:30歳代	132	53.0	18.9	2.3	25.8	-	59.1	20.5	20.5	-
	男性:40歳代	150	65.3	7.3	3.3	22.0	2.0	74.0	18.0	5.3	2.7
	男性:50歳代	131	70.2	9.9	3.1	16.0	0.8	80.9	12.2	6.9	-
	男性:60歳代	189	75.7	6.9	2.1	15.3	-	88.4	9.0	2.6	-
	男性:70歳以上	99	84.8	1.0	1.0	13.1	-	89.9	7.1	3.0	-
	女性:20歳代	117	40.2	14.5	9.4	35.0	0.9	47.9	27.4	24.8	-
	女性:30歳代	148	55.4	18.2	4.1	22.3	-	61.5	23.0	15.5	-
	女性:40歳代	174	59.2	14.4	2.9	23.0	0.6	82.8	12.6	4.0	0.6
	女性:50歳代	169	61.5	10.7	4.7	23.1	-	85.2	13.0	1.8	-
女性:60歳代	205	76.6	5.9	3.4	13.7	0.5	89.8	7.8	2.0	0.5	
女性:70歳以上	112	86.6	5.4	1.8	6.3	-	86.6	10.7	2.7	-	

6 調査票回収不能理由

回収不能の総数およびその理由は、以下に示されるとおりである。

◆回収不能理由

理 由	件数 (件)	比率 (%)
拒 否	87	30.1
不 在	63	21.8
転 居 ・ 転 出	42	14.5
内 容 不 備	18	6.2
対 象 外	58	20.1
住 所 不 明	5	1.7
病 気 、 入 院 ・ 入 所	15	5.2
死 亡	1	0.3
計	289	100.0

7 調査結果利用上の注意

- ◇比率は百分率(%)で、小数点以下第二位を四捨五入した。このため、合計の比率が0.1~0.3%程度増減することがある。また、2つ以上の回答(複数回答)を求めたものについては、比率の合計は100%を超える。
- ◇文中の選択肢の表示は「 」で行い、選択肢のうち二つ以上のものを合計して表す場合は『 』とした。その場合の数値については、選択肢ごとに小数点以下第二位を四捨五入したものを合計して表示した。
- ◇数表、図表に示すNは、比率計算上の基数(標本数)である。
- ◇数表、図表に示す選択肢はスペースの関係で文言を省略している場合があるので、巻末の調査票を参照のこと。
- ◇本調査における標本誤差は、回答者数(n)と得られた結果の比率によって異なるが、単純無作為抽出法を仮定した場合の誤差(95%は信頼できる誤差の範囲)は、下表のとおりである。

各回答の 比率 P 回答数(n)	10% (又は90%)	20% (又は80%)	30% (又は70%)	40% (又は60%)	50%
3,000	±1.1	±1.4	±1.6	±1.8	±1.8
2,000	±1.3	±1.8	±2.0	±2.2	±2.2
1,000	±1.9	±2.5	±2.8	±3.0	±3.1
500	±2.6	±3.5	±4.0	±4.3	±4.4
100	±5.9	±7.8	±9.0	±9.6	±9.8

なお、本調査のように二段無作為抽出法による場合は、標本誤差が若干増減することもある。また、誤差には回答者の誤解等による計算不能な非標本誤差もある。

(表の見方)

回答者数が2,000人で、ある設問の選択肢の比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は、±2.2ポイント以内(57.8%~62.2%)であると見ることができる。

- ◇過去の調査で今回と同様の質問を行っている場合、随時その結果を掲載している。ただし、平成17年度調査より前においては、調査地域は合併以前の久留米市域のみとなっている。各テーマ別に比較した過去の調査は以下のとおりである。

○食育・地産地消	平成22年度 久留米市民意識調査
○環境	平成21年度 久留米市民意識調査
○中心市街地	平成24年度 久留米市民意識調査
○住宅	平成21年度 久留米市住生活に関するアンケート調査
○インターネット	平成24年度 久留米市民意識調査
○安全・安心のまちづくり	平成23年度 久留米市民意識調査